

抜型および関連資材メーカーの大創(大阪府大東市)は、カス取り(フランキング)のコスト削減や品質向上を実現する、「フランキング型スマートタイプ」(特許出願中)を発売した。

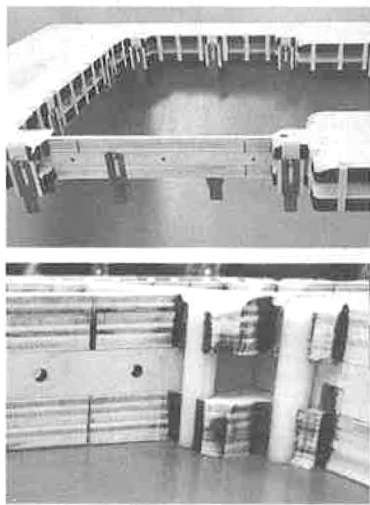
カス取り型は打抜き工程で確実にカスを取り、後工程でムシリなど作業負担を削減できるが、型自体のコストや納期が跳ね上がったため、抜型メーカーとして常に提案出来るものではなかったという。スマートタイプは、通常3枚貼り合

わせるベニヤを2枚に減らし、1枚減った空洞部分を樹脂製の柱で支え、強度や性能を維持したまま、最低コスト化など多くのメリットを実現した。ベニヤを1枚減らした

### 構造簡易化し軽量化

大創・カス取り型「スマートタイプ」作業性など向上

ことで製造が簡易化され、短納期を実現し、軽量化によって打抜き現場での運搬や、打抜きセッにかかると、既にかかる負担を大幅に軽減した。大創でも製造の際、「価格が安く、納期も早いベニヤをレーザーで切断



く、女性や高齢オペレーターの負担が激減した」に困っている現場に提案したい。お客様の声を商品のイメージが大きい製品を、ススが付着せず安心して抜ける」など多くの成果が報告された。大創では「カス取り対応可能な打抜き機を持

1743-9919。